

第16号の特集 「私の趣味 I」

わたしは傷を持っている
でもその傷のところから
あなたの
やさしさがみえてくる

—星野富弘—

※特集 私の趣味 I

・私の趣味	平野真佐枝	2
・私の趣味	大江 夏子	2
・チョッピリ好奇心をもって	下出 幸作	3
・音楽が好きだから	川崎 敏明	3
・オートバイに恋して	大島 豊	4
・ルート0号線・ドライブイン	山本 武博	4
・僕の趣味	鎌田 司	5

※もの知り博士登場

・有料道路の通行料割引制度		5
---------------	--	---

※ひろびろ共同作業所の法人認可設立を終えて	西坂 聡	6
-----------------------	------	---

※人物紹介	池田 哲弥	7
-------	-------	---

・表紙画筆者紹介		7
----------	--	---

※各地からの催し物だより

・第27回石川県身体障害者体育大会		8
-------------------	--	---

・石川県車椅子バスケットボールチーム名古屋で交流試合！！		8
------------------------------	--	---

・七尾市ディケア・サービス		8
---------------	--	---

・脊髄損傷協会九谷の里見学	森本 忠義	9
---------------	-------	---

・わたぼうし新聞全国に放送される		9
------------------	--	---

・「ほほえみの石川大会」会期決定		9
------------------	--	---

・ひまわり号に参加してみませんか？		9
-------------------	--	---

※わたぼうし広場

・今、思っていること	川上 登	10
------------	------	----

・羽咋市に福祉タクシー制度が実施される		11
---------------------	--	----

この新聞は障害のある人、
ないひとが自由にそれぞれの
考え等を出し合い主義、
主張を越えて、お互いを理
解し合う中から共に生きる
豊かな社会を作っていくこ
とを目的として発行してい
ます。

特集《私の趣味Ⅰ》

このコーナーは一つのテーマについて、さまざまな人たちに意見を述べてもらうコーナーです。

私の趣味 障害者支援施設・利用者

私はいつも他の人から「あなたの趣味は何ですか？」と質問されると、以前の私は決まり文句のように「歌番組を見たり聞いたりして、一緒に唄うことが趣味です」と答えていました。

私は今でも、どこでも1日中ラジオやテレビに合わせて唄っていたい、唄大好き人間なのですが、その私を変化させたものがあります。そのきっかけを作ってくれたのは、8前に胃ガンでこの世を去った母でした。母は私が高校を卒業と同時に私に「真佐枝、母ちゃん一つだけ約束しよう」と言って話したことがあります。それは「学校へ行く代わりに、母ちゃんが短いお経を教えるから、1日1枚の写経をしなさい。英文タイプを買ってあげるから、写経してからお友だちや先生にお手紙を書きなさい」と言っていたことを覚えています。それからの私は、お経というものを知らないで、初めの頃は母の読んでいるのを聞いて、慣れてきた頃に英文タイプを打って写経を毎日続けていました。けれど母が「ローマ字やカナだったら読みにくいから、和文タイプを買ってあげる」と言って、しばらくの間は和文タイプを使っていました。

そして、今の施設に来てから5年目の昭和61年9月に指導員さんと寮母長さんに相談してワープロを買っていただきました。最初は「私にワープロなんて、できるのかしら」と思っていたのですが、やっていくうちにだんだん自信がついてきて、昔の私には考えられないくらい文章を作るのが楽しくて、日本全国へ手紙を出している私です。

現在の私は、救護施設で大好きな歌を週1回のクラブ活動に精一杯の声を出しています。

それから、ときどきワープロで友人の代筆をしてあげることがあります。たくさんの友だちができて、うれしく思っています。

私の趣味 地域住民・主婦

私は下手の横好きで、スポーツではママさんバレーボールが大好きです。結婚してからはずーっとママさんバレーボールをしてきました。子供が小さい頃は、日曜日などにいろいろな大会があると、主人と小さな子供はいつも一緒に来て応援をしてくれました。子供の面倒を見てくれたりして、主人は本当に協力してくれたので感謝をしています。

それにもう一つ、私にとって欠かせないものがあります。それは結婚前からも興味があったのですが、10年程前から着付けを本格的に始めました。

昨年7月に講師の免状を取りました。年令（とし）が行くにつれ、バレーボールよりも着付けに重点がいくようになって、以前に増して着付けに対する楽しさを見出している私です。

チョッピリ好奇心をもって 地域住民・在宅障害者

私の趣味は読書・絵画・将棋を指すことです。この三つの趣味は私の中で、お互いに関連しているように思います。

私の好きな本は百科事典で、テレビや書物などでいろいろ解らないことがあると、すぐ調べることにしている。読み物としても一つの項目を調べると次々に関連した事項に関心を持つことができ、体系的に知ることになり、変な小説を読むよりも面白いし、何よりも知識が豊富になると思う。

さて、私が絵を描き始めたのは亡き友人の影響もあるが、百科辞典のグラビアで古今の名画に触れ、その用具や技法の解説を読んでいると、指や足、身体に直接絵の具をつけてキャンバスに描くという技法が紹介されていて、これなら手足の不自由な私でも何とか描けるのではないかとチョッピリ好奇心を感じて始めたのがキッカケである。こうして、何点か描くうちに筆も使用できるようになり、また無謀にもアマチュア美術展に応募をしたら、幸運にも入賞するということもあり、何となく絵を描くことが好きになったという訳である。

また、将棋も駒の並べ方や動きは、幼い頃父に教わったが、興味を感じるようになったのは雑誌の詰め将棋を解けるようになってからです。訓練校に入っているときは、授業よりも将棋を指していたことが思い出として残っている。

たぬだ、この将棋というヤツ、一人で指していても間が抜けていて、やはり相手がいないと面白くない。それで、この「わたぼうし新聞」の読者の中で、将棋を愛好している方がいましたら、チョッピリ好奇心をもって私と一局しませんか。連絡してください。

音楽が好きだから 地域住民・在宅障害者

最近はあまり書いたことはありませんが、いろいろな詩にメロディーをつけたり、あるいは編曲をすることが好きだ。歌を歌うことはあまり好きでないが、作曲をしたり・演奏をしたり・音楽について語り合っているときは音楽家になったつもりで夢中になってしまう。

思春期の頃には作曲家になりたくて、専門書を読んだり、通信教育を受けたりしていました。その頃はユーミン・陽水・拓郎などのレコードをよく聞いた。そうしているうちに自分でも歌を書いてみたいと思い、その作業に没頭してできたのが「ひとつぶのなみだ」という曲なのです。あれから14年を過ぎた現在、そのスコアをかたわらに、この原稿を書いています。作曲することでいろいろな人と出逢い詩を書いてもらったり、曲を提供したり、コンサートに参加したり、音楽を通していろいろな友だちもできました。

我ながら満足のできる曲ができたときは、本当にうれしいものです。それだけでなく自分の思うこと・感じることを音の組み合わせによって表現できるなんて、すてきなことじゃないですか。

オートバイに恋して

障害者支援施設・職員

なにかと世間の風当たりが強いオートバイですが、オートバイ自体が悪いのではなく、それを乗る人間の問題ではないかと思います。

一口にオートバイと言っても、いろいろあります。オンロード・オフロード・ダートトラック・トライアルなど走る道路に合わせて各種あります。私もオンロード・オフロード・トライアルと三台を所有していますが、最近はトライアルばかりに乗っています。トライアルとは、岩や谷間を上手に乗り越えるために軽量で頑丈、粘り強いエンジンを持ち、まさしく「人間が操るバイク」そのものだと思っています。スピードを出すだけがオートバイの喜びであるわけではないのですが、そここのところが分かっていただけなのが残念です。トライアルも各種の選手権があり、日々まじめに練習をしている人も多いです。この人たちが単にオートバイというだけで白い眼で見られるのは本当に残念なことだと思います。社会の理解を得て、社会に適応した日が来ることを望みます。

ところで、ともすると反社会的な乗り物として見られがちなオートバイですが、それでも乗る人を引き付ける魅力とは一体何でしょうか、みなさん一度ゆっくりとオートバイを眺めて見て下さい。無駄のない造り、調整用のネジの多いこと、そして人が乗ってはじめてバランスをとることなど、非常に「生きもの」に近い造りであることが分かっていたかと思う。この「この生きものに近いこと」がオートバイの大きな魅力ではないでしょうか。オートバイも乗り手も喜ぶことができる乗り方こそ、本当のオートバイの乗り方だと思います。

オートバイにすでに乗っている皆さんも、一度トライアルに挑戦してみてください。本当のオートバイの喜びを体験できるかと思います。私もその中の一人ですから……。

「ルート0号線」・ドライブイン

障害者支援施設・利用者

北陸自動車道の金沢西インターを下りて、すぐのところにレストハウスがあるのです。ここはトラックなら誰でも知っているところです。昨年12月に「突撃！」したときも、ここで集合したのです。

食事はもちろんできるのですが、私がお勧めなのは「みたらしだんご」。おしょうゆの香りが何とも食欲をそそるのです。5～6本、「あっと」いう間に食べてしまうのです。金沢に来たときは是非寄って下さい。

原稿募集中！！

当新聞に掲載する原稿を募集しています。あなたの思いや夢等をどしどし編集局まで提出してください。

わたぼうし新聞を通じて新しい友だちをつくりませんか。

僕の趣味

障害者支援施設・利用者

僕には、とりたてて趣味といえるものはない。まあ、強いてあげれば読書ぐらいか。とにかく、本を読むことが好きである。特に歴史ものが好きで、戦国時代に関するものには強い興味がある。それも歴史の中に飲み込まれた悲劇的な人物にスポットを当てた小説を読みあさっている今日この頃である。

何故か僕は陽の目を見なかった戦国武将に魅かれてしまうのである。たぶん、今の自分の境遇と似通っているところが、少しあるかも知れない。といっても、自分を悲劇のヒーロにしている訳ではない。ただ、彼等の生き方に共鳴する部分があるので、読んでいてつい引き込まれてしまうのである。必死になって陽の目を見ようと生きる姿に、僕は励まされ勇気づけられているのである。だから、僕にとって読書とは、単なる趣味というより、人生の指針ともいうべきもので、なくてはならないものである。とにかく、本を読むことが好きでヒマさえあれば読んでいる。最近は歴史小説ばかりではなく、推理小説やSFもの、さらにはドキュメンタリー・ノンフィクションものまで読むようになった。自分の気に入った本を見つけると、それがどんなジャンルでも読みたくなってくるのである。

つまり、好奇心が旺盛なのである。それでも小さい頃は本を読むことが大嫌いで、小学生の頃はほとんど本を読まなかったぐらいである。それが学校を卒業した途端、読書が好きになったのである。まあ、考えてみれば、本を読むこと以外にすることがなかったからかも知れない。体が自由に動けた頃は何でもできたのでじっとしていなかったもので、したがってじっくり本を読むこともなかったのである。今の僕にはじっくりと本を読む時間がある。この与えられた時間を有効に使い、今後もさまざまな本を読みたいと思っている。

もの知り博士登場 !!

有料道路の通行料金割引制度

諸君、今回は、障害をもちながらも車を運転している方にチョットお得な講義をする。というのは、高速道路などの有料道路の通行料金が半額になる制度である。しかし、次のような制約がある。

対象は肢体不自由者が、自ら所有する乗用自動車（普通・小型・軽自動車で乗用のものに限る）またはライトバンで本人が運転をする場合である。ただし営業車は除く。次は割引率は50%である。

割引を受けようとする場合には、自分が持っている障害者手帳が交付されている市町村の福祉事務所へ障害者手帳・認印・運転免許証・車検証をもって行くと割引証が発行される。割引証は申請1回月60枚以内、年間720枚以内である。

割引を受けるときは、割引証の他に手帳に福祉事務所の押印を必要とする。通行するときは出入り口の各料金所で手帳・割引証を収受員に呈示すれば割引が受けられる。

諸君、今回はこれで講義は終わる。バイバイ。

ひろびろ共同作業所の法人認可設立を終えて 地域住民・在宅障害者

去る6月18日（日）金沢市三社町の婦人生活会館に於いて、ひろびろ共同作業所の法人・認可設立総会と記念ジョイントコンサートがありました。

当作業所は金沢市長坂町にあり、障害者が働き集う無認可の小規模通所授産所です。現在22名の仲間が週5日間の下請け作業やふきん作り・廃品回収などの仕事して頑張っています。しかし、6年前にアパートの一室からスタートした当作業所は移転建設・増改築と無認可ゆえに困難な道を歩み、関係者にとって気の休む時はありませんでした。

それでも、なお増え続ける仲間とは対称的に、①20名を超える仲間が通う作業所としてはあまりにも狭すぎる。②公的な補助金が運営の3割にも満たない状況では職員配置もできず、また、必死に資金づくりをしても慢性的な赤字が続くこと。などで限界の状況になってきたため法人・認可の実現が迫られ、昨年4月から本格的に3000万円の自己資金づくりを目指して取り組んできました。その結果、多くの方々の暖かいご支援・ご協力のおかげで資金づくりも目標額達成まであとわずかに迫り、法人・認可されるのも6カ月以内に確定することになって18日を迎えました。

設立総会では、社会福祉法人ひろびろ福祉会原新理事長の開催挨拶に始まり、祝辞・活動及び決算報告・新作業所建設設計図の紹介などがありました。特に活動報告の中で認可後の新作業所の説明があり、①身障者の作業所にも来年から給食が実施されるようになる為、新「ひろびろ」は全国に先駆けて給食設備のある作業所になるということ。②所内が広がることで作業がやりやすくなり、又、食堂と作業室がそれぞれ別々になるということ。③作業材料運搬にはトラック、フォークリフトなどが、更に作業設備ではコンピューター内蔵ミシンが導入されること。④作業所の運営が安定するために職員体制等が充分に行えるなど、仲間にとっても作業所の成り行きが心配だっただけに法人・認可に一安心するとともに、「新ひろびろ」の完成が楽しみになって来ました。

一方記念ジョイントコンサートでは、金沢センター合唱団“きらきら”合唱団のご協力を得て、仲間・職員・お母さん方で法人・認可が実現した喜びと感謝を込めて精一杯歌いました。練習が充分にできなくて本番が心配でしたが、仲間みんなが本番には強くて元気な歌声が会場に響いていました。又、日頃歌い慣れないお母さん方が何回かの練習の成果が実って、少し難しい曲目をこなしていたのにとっても感動しました。それからコンサートを盛り上げて下さった金沢センター合唱団並びに“きらきら”合唱団の素晴らしい歌声は終わってからも耳について離れませんでした。歌の中で特に最初の「僕らの町さ」と最後の「心はいつも夜明けだ」が光っていたように思います。

最後に新しい作業所ができるまでには、まだまだ多くの問題が残されていますが、仲間・職員はじめ関係者一同心を合わせて、より充実した作業所になるよう必死に努力していくことが、応援して下さった方への恩返しになることを信じて頑張っけてゆきたいと思えます。

そして、わたぼうし新聞のこの記事を見られている皆さんをはじめ、多くの方の変わらないご支援・ご協力をお願いします。

人・ヒト・ひと・人物紹介

I. Tさん

1. 年 令：29才
2. 住 所：？
3. 障害名：脳性小児マヒ 2級
4. 出身地：？
5. 職 業：写植オペレーター
6. 趣 味：株を買うこと
7. 現在の夢：家を築くこと
8. 外出の回数：月に8回
9. 外出の工夫：別になし
10. 主にどこへ出かける：デパート・サークル活動
11. 介護者を見つける方法は？：必要なし
12. ボランティア活動についてどう思いますか。
気持ちが入っていないと思う。
13. 健全者に望むこと：一部の人たちの差別がきつい。
14. 好きな食べ物：果物。
15. 好きな言葉：愛
16. あなたの生きがいは：株を買うこと。
17. 障害について一言：ないほうが良いね。

I.Tさんについて

友人・T.K

Iさんは野々市町の福祉向上石川サニーマイトで写植オペレーターとして活躍されております。普段は口数も少なく物静かな彼ですが、話をしてみると、なかなか面白い人ですよー。

快くインタビューに応じてくれたことに心から感謝します。

表紙画筆者紹介

Y.Tさん

Tさんは脳性小児マヒの障害をお持ちで、現在は七尾市の青山彩光苑に入所していらっしゃいます。趣味は絵を書くことで、特に植物の水彩画を専門として、生き生きとした絵をお書きになっております。当新聞にご協力いただきありがとうございます。

皆様の中でも、どうも「私は文章を書くことが苦手」という方はさまざまな方法で、紙面作りに参加していただければ幸いです。

各地からの催し物だより 第27回身体障害者体育大会

5月22日（日）に金沢の西部緑地公園陸上競技場・他三会場に於いて第27回身体障害者体育大会が行われました。当日は朝から雨で大会が行われるかが心配されましたが、日頃の皆さんの行いがよかったのか、開会式が終了する頃にはよい天気になりました。

参加者の皆さんは、秋の北海道全国身体障害者スポーツ大会に目指してガンバッテいた方もたくさん見かけました。さまざまな障害をもった選手のいるなかで、800m走を途中で息苦しくなりながらも最後まで走り抜いた青年がいましたが、スタンドからその青年に対して暖かい声援が送られていました。

この新聞を手にしていらっしゃる方々の中で北海道行きが決定された方々がいらっしゃいましたら、本当におめでとうございませう。

石川県車椅子バスケットボールチーム名古屋で交流試合！！

前号のわれらの仲間たちで紹介しました石川県車椅子バスケットボールチームは、県身体障害者体育大会と同日に名古屋へ愛知県のチームとの試合に行ってきました。

私たちチームは前日に金沢を車で出発し、名古屋で一泊して翌日の試合に望みました。しかし、私たちは皆様のご期待に添えずに一回戦で敗退をしました。

これをよい経験として、現在はチームが一致して、平成3年の第27回全国身体障害者スポーツ大会に向けて週3回（火・木・土）の仕事が終えた夜に、金沢市むつみ体育館に集まって練習を行っています。今度は絶対により成績が出るように頑張りますので、皆さんも一度応援に金沢むつみ体育館へ来て下さい。

七尾市ディケア・サービス 《6月》

6月4日（日）に、七尾市城山体育館に於いて第2回ディケア・サービス、風船バレーボール大会が市内の施設・病院・養護学校などの16チームの参加で熱戦が行われました。参加各チームは、日頃の練習の成果をフルに発揮して熱の入った試合が続きました。

試合結果は次のとおりです。

- ・優勝：青山彩光苑Aチーム
- ・2位：ブラックファイターズ御祓Bチーム
- ・3位：ブラックファイターズ御祓Aチーム

参考：地域の情報紙「ななか」

☆なお、10月15日（日）に第3回石川県リハビリテーション風船バレーボール大会が小松サンアビリティーズで開かれる予定です。

6月11日（日）に脊髄損傷協会の研修会が九谷焼で知られる小松市にある九谷の里（身体障害者授産施設）で30名の参加者で行われました。

同じ脊髄損傷者であるS.Y氏（職員）の指導で、全員が初めて焼き物に絵付けをする方法の講義を受け、一筆書くごとに歓声を上げていました。自分で書いた絵ができあがるごとに胸をときめかせて、後日できあがった自分の力作に感動していました。「よくこれだけの物が描けた」とか、手にとって喜び「中でもこんなケツサクだ」とか、「家の宝ものに」、「世界中に一個しかない芸術だ」と喜んでいました。

「わたぼうし新聞」全国に放送される！

皆さんの中でもお聞きになられた方もいらっしゃると思いますが、NHKラジオ第2放送で毎週日曜日の夜（再放送翌週日曜日の朝）に放送される番組「心身障害者とともに」に送付しましたところ、5,6月の放送で毎月一回月末に企画されています「話題のコーナー」で取り上げられ全国に紹介されました。

これを機会にして、今後も皆様に親しまれる充実した内容の機関誌として行きたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

第27回全国身体障害者スポーツ大会

「ほほえみの石川大会」会期決定 !!

会 期：平成3年10月26・27日

平成3年に石川県で開かれる第27回全国身体障害者スポーツ大会の会期と大会スケジュールが決定しました。

スケジュールは平成3年10月24・25日に他県選手団が来県、26日に開会式に引き続き競技に入り、27日までの2日間と決定しました。（参考：北国新聞）

これからの催し物

ひまわり号に参加しませんか？

《10月》

「一度でいいから列車に乗りたい」「安心して旅を楽しみたい」という障害者や家族のそんな素朴な願いを込めて今年もひまわり号が走ります。

①運転日：1989年10月22日、29日（日）

朝7時15分までに金沢駅に集合。

②行き先：岐阜県飛騨高山

③募集人員：1回目（1号車）400名
2回目（Ⅱ号車）400名

④参加費：大人 4,500円 中高生 3,500円 小学生 2,500円

⑤事務局・申込先：〒921 金沢市長坂町1丁目4-20

ひろびろ共同作業所

☎ (0762) 42-8861 (13～20時)

⑥募集期間：8月22～9月22日（団体は15日）

申し込みは所定の用紙がありますので、詳しいことは事務局までお問い合わせ下さい。

わたぼうし広場

今、思っていること

在宅障害者

今日、日本は「世界一の経済大国」言われるまでになりましたが、国民の生活を見てみると本当に日本は大国になったのだろうか、と考えさせられます。たしかに物質的には物は多くあるし、ごく一部の人は金銭的にもそんなにも困らなくなってきました。でも、何故かしら経済大国日本。世界一の金持ち国日本というイメージが浮かんでこないのは何故なのでしょう。

私が思うには、それは日本人にゆとりがないのではないのでしょうか。戦後40数年の間に日本という国は、ただひたすら働いてきました。その甲斐があって日本は世界一の金持ち大国、経済大国といわれるまでに成長し続けてきましたが、その反面、国民生活を見てみると、そんなに変わっていないのが現実ではないのでしょうか。むしろ暮らしにくくなって来ているのではないのかな。

銀行や郵便局のマル優の廃止・それに消費税の導入による物価高騰などは、国民が一日の生活をするだけで精一杯だと思います。ましてや老人・母子家庭・障害者など所詮弱い人にしわ寄せが来ているのが現状ではないのでしょうか。一概に国の政策が悪いとは言いませんが、今の国会議員は本当に国民のことを真剣に考えているのでしょうか。

リクルート疑惑や政治献金など、国民に考えも付かないほどのお金が国会議員の手元に入って来ているらしいですね。確か10年ほど前にもそんなことがありましたね？その時も

国会議員は政治改革や議員のモラルなど、と言っていましたように記憶していますよ。今回も口先で言うだけかも知れませんか。日本の国の将来を真剣に考えてくれる国会議員はどれだけいるのでしょうかね。

経済大国日本は、まだまだ先進国にはなりませんね。まだまだ日本は発展途上国ではないかと私自身は思いますね。

すなわち、国会議員の心から治して行かなくてはなりませんね。そのためにも、国民一人一人が日本をよくしようとする気持ちがないと駄目でしょうね。とにかく、一人の国民として私なりに意見を言いました。

羽咋に福祉タクシー制度が実施される！！

石川県羽咋市では、ようやく待望の福祉タクシー制度が8月1日より実施されました。対象者は羽咋市に在籍があり。下肢・体幹・視覚障害者の1・2級の方、療育手帳Aの方です。割引率は50%で一人につき年間1万円まで。割引証希望の方、詳しく知りたい方は羽咋市福祉事務所にお聞き下さい。

皆様へのお願い

今回より皆様のご意見を聞き、紙面の質の向上を図るという意味で、テーマごとにご意見用紙を同封いたしますので、どしどしご意見を書いてお寄せ下さい。

ただし恐れ入りますが、郵送代金は自己負担でお願い申し上げます。たくさんのご意見・ご批判をお待ちしています。

～詩～

君へのメッセージ 障害者支援施設・利用者

つまずいた傷の痛みは
努力の印と人は言う 空は夕焼け雲で
冷たい風が顔をたたく
涙がいつの間にか流れ出す
この胸の中で誰かに縋りつく
他人の愚痴ではがい自分に わけもなく
地面にたたきつける 心の奥にある
夢をあきらめないで いつものように君の
生き方で生きればいいのか
他人は他人の 悪口を言う生き者さ
夢は努力した数だけ
かなえられるものさ
人生はいろんなことが
待っているから

君は負けないでファイトで
生きてほしい
肩に落ちる枯れ葉は
心をくもらせる
誰もいないベンチに
すわると心寒い 涙がいつの間にか流れ出す この胸の中で誰かに縋りつく 明日を追
えなくなる自分に わけもなく 地面にたたきつける

ワンチャン・ニャンチャン大集合 ～ワンチャンの巻4～

地域住民

コンニチワン！僕のこと新聞に載せるってえ。はずかしいな。でもどうせなら、もっと若い時に載せて欲しかったな……。そしたら彼女ができたかもね。もう9才だもの。でもまだまだ元気なんだぞう。いつも家の回りを走り回って、お母さんに薄茶色の毛が真っ黒にするっておこられるんだ。

この頃、お母さん走れないんだ。「だからちょっとからかってここまでおいでワンワンって！！目がビーダマみたいっていわれ、近所の子どもたちにもかわいって、人気があるのはうれしいけれど、本当は少し小さい子はこわいんだ」あ、そうだ名前があとになっちゃった。ポメラニアンの子っていうんだ。じゃあよろしくね。

●ワンチャン・ニャンチャンコーナーを企画して早いもので1年が過ぎました。四匹のワンチャンにそれぞれに特徴がありました。しかし、ニャンチャンがまだ一度も登場しませんでしたので、広く募集しています。

写真は印刷ができませんので、似顔絵があれば大歓迎！！

本の紹介

時の止まった赤ん坊 上・下

曾野 綾子著 新潮文庫 定価 480円（税込み）

根一人の修道女の目を通して、アフリカのマダガスカルの実像をつぶさに描き、人間が生きることの尊厳について、現代人が直面する物と心の意味について、我々日本人に鋭く問いかけた問題作。

購読費納入について

15号に平成元年度の購読費納入願について同封いたしました。多数の方々はこの新聞の趣旨をご理解いただき、購読費を納入していただきました。ここに厚くお礼を申し上げます。今後も、皆様のご期待に添うような内容となるように頑張りますので、ご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様からお預かりしました購読費は、当新聞発行の経費と運営費として使わせていただきます。

なお、領収書は勝手ながら郵便局発行の受領書を領収書としてさせていただきますので、ご了承下さい。（事務局）

編集後記

「暑い、暑い」と言っても、暑い中で汗をかいた後に飲むビールは、又、特別なものです。スポーツ等に大いに汗をかいて、夏をエンジョイしましょう。(H.A)

この時期になると人々は旧盆で故郷に帰ります。そんな中で8月15日の終戦記念日にラジオの「秋山ちえこの談話室」で放送される38年前につちやゆきおさんが書かれた「かわいそうな象」という童話を毎年聞いています。戦争を知らない自分にも「平和であること」が幸せなことだと思います。

だが、最近の少女連続誘拐殺害事件を聞きますと「平和とは」どのようなことを指すのか、と考えさせられました。この少女たち・ご家族の皆さんにとりましては、戦争以上の苦しみではないでしょうか？(Z.O)

ただ今、私の「趣味」・「夢」原稿募集中！！

17号のテーマは 私の趣味Ⅱ

18号のテーマは 私 の 夢